

編集部の
授業見学レポート

教材名

二番目の悪者

教科書

2 年 P.158~163

実践者

長谷川正裕 先生
千葉大学教育学部附属中学校 教諭

授業見学にあたって

- ◆「二番目の悪者」は、令和 7 年度版の教科書から掲載された新規教材。動物たちの国を舞台として、自覚がないまま、みんなが無責任な行動に加担していったら、どうになってしまうのかを考えていきます。本教材を扱った授業を見学するのは初めてだったので、生徒がどんな反応を示すのか、楽しみに見学しました。

授業の概要

- ◆毎時間、前時の道徳の各自の振り返りを共有し、さらに振り返って「リフレクション」を書く活動からスタート。
- ◆生徒数：30 人程度
- ◆教材のあらすじ：年老いた王様が、次の王様を国民で決めるようにとお触れを出した。金持ちの「金のライオン」は、自分こそが王様にふさわしいと思っていたが、みんなが候補に挙げたのは、街外れに住む親切な「銀のライオン」。金のライオンは、銀のライオンを陥れようと「偽りのうわさ」を広め始めた。他の動物たちも、そのうわさを信じ込み、「偽り」が「真実」として国中に広がっていく。やがて、金のライオンは王様となるが、好き勝手に振る舞い、国はたちまち荒れてしまった。

当日の授業の流れ

	学習活動／先生の発言／生徒の発言・様子	編集部のまなび／指導の工夫
前時の振り返り	前時を振り返り、追加の資料を読んで考える〈13 分〉 ●前回の道徳では、「自分らしさを発揮すること」について考えました。振り返りで「自分を貫き通す」「素の自分を見せる」と書いた人が多かったようです。 ●（「嫌われるのを恐れる気持ち」を読んで）嫌われるのを恐れることは、ひきょうで臆病なことか、「そう思う」「そう思わない」のどちらだと思いますか。 ・（多くの生徒が「そう思わない」を選択。） ●この前は「自分らしさを発揮すること」を肯定的に捉えていた人も、「本当の自分を隠しても OK」だと考えているみたいですね。「自分らしさ」とはなんでしょう。ヒントカードに書きましょう。	◆前時の授業で各自が書いた振り返りを掲載した道徳通信を配付。目を通させた後に、追加資料「嫌われるのを恐れる気持ち」を読ませる。前時とは異なる視点で「自分らしさを発揮すること」について考えさせていた。
本時の展開	本時の教材を読む〈5 分〉 ●今日は「二番目の悪者」というお話で考えます。ワークシートに登場人物を載せておきました。今から読むので、その名前が出てきたら、教科書に印を付けておいてください。	◆紙のワークシートに、登場人物が書き出されている。教材の内容理解に加え、次の活動の進めやすさにもつながっているようだった。
	各自で「一番目の悪者」「二番目の悪者」「三番目の悪者」は誰かを考える〈7 分〉 ●「一番目の悪者」「二番目の悪者」「三番目の悪者」は、それぞれ誰だと思いますか。自分で考えて、ワークシートに書きましょう。理由も考えてください。 ・（各自で紙のワークシートの図に書き込む。）	◆あえて順番をつけ、各登場人物の判断や行動を吟味する活動が、生徒自身の価値観の自覚につながっているようだった。

	班で考えを共有し、 「一番目の悪者」「二番目の悪者」「三番目の悪者」を決める〈10 分〉 ●班で話し合って、「一番目の悪者」「二番目の悪者」「三番目の悪者」を決めてください。 ・「二番目の悪者」は、シカだと思う。金のライオンからのメールを、本当かどうか確かめずにリスに送ったから。シカがリスに広めなければ、こうはならなかったはず。 ・「二番目の悪者」は、銀のライオンではないか。うそのうわさが流れているのを知っているなら、それは否定しないとだめだと思う。	◆ワークシートと同じ図をデジタルで共有し、班で話し合う。意見が割れるが、あらかじめ各自で自分なりの順番をしっかりと考えているので、自分の意見をはっきりともちつつも、自分とは異なる意見にも耳を傾けて話し合っていた。
	班の考えを、全体で共有する〈10 分〉 ●班の考えを発表してもらいます。全部の班が、「一番目の悪者」は金のライオンという意見のようなので、「二番目の悪者」と「三番目の悪者」を発表してください。 ・「二番目の悪者」はシカ。金のライオンからのメールを転送したから。「三番目の悪者」は、リスと銀のライオンで意見が割れた。リスは、うそのメールを簡単に信じた。銀のライオンは、自分のうそのうわさを否定しなかった。 ・「二番目の悪者」はシカ。他の人にすぐに広めるのがよくない。「三番目の悪者」は、フクロウと銀のライオン。フクロウは、うわさがうそなら否定すべきだし、銀のライオンも、誤解はいつか解けると思い込んでいるから。 ・「二番目の悪者」はシカとリス。うそのうわさを流したり、信じたりしたから。「三番目の悪者」は野ネズミ。最後で「自分は無関係」みたいな態度に思えたので、よくないと思った。 ○野ネズミの態度は、現実にはめたらどんな感じだと思う？ ○「うわさを否定しない」のは、どのぐらい悪いんだろう？ ○銀のライオンは「被害者だけど悪者」。という意見があるけれど、現実には当てはめたらどんな状況になるんだろう？	◆生徒の考えに対して、「それを現実には当てはめたら、どんな感じなんだろう？」と問いかけ、先生自身やクラスの生徒の名前を借りて、身近な例に置き換えていた。教材中の出来事や生徒の発言内容を、具体的に想像しやすくなるので、生徒にとっては、実感を伴った理解につながっているようだった。 ◆各班の「二番目の悪者」「三番目の悪者」の理由を取り上げながら、先生がさまざまな観点から問い返していた。この問い返しが、終末の振り返りの観点にもなっていた。
本時の終末	本時の学びを振り返る〈5 分〉 ●ヒントカードに今日の振り返りを書きましょう。今日書いてほしいのは、「どうして、『一番目の悪者』『二番目の悪者』『三番目の悪者』が生まれたのか。どうすれば、生まれなかったのか」です。 ・それぞれが自分で考えずに流されてしまったことや、本当の優しさや正しさを見失ってしまったことが原因だったと思います。私は、「自分らしく生きる」ためには、周りに流されず、自分で考えることと、優しさや勇気をもつことが大切だと気づきました。	◆生徒の振り返りには、「自主、自律、自由と責任」に関すること以外に、前時で考えたこととつなげて考えたことなども挙がっており、授業の冒頭で前時を振り返ることの効果を感じられた。

⋮

一週間後の道徳授業の冒頭	「二番目の悪者」の学びを振り返る〈10 分〉 ●前回のみんなの振り返りを AI で分類しました。読んでみてください。 ●AI の分類を読んだうえで、うわさ話による被害を減らすためには、どのようなことを意識して行動するべきでしょう。書いてみてください。 ・私は、わからないことでもとりあえず誰かに言いたくなってしまう。なので、そのうわさの真偽を明らかにしてから広めたい（そもそも広めること自体が悪い癖だとは思うが）。まずうわさを疑うことから始めたい。また、広まる前に、自分に来たところでうわさを止めるべきだと思う。	◆クラス全員の「二番目の悪者」の振り返りを、AI を用いて分類し、考える手がかりとして活用していた。 ◆1 週間時間を空けたうえで、友達の考えに触れ、改めて考えるという学びのサイクルになっていた。
--------------	---	--

- …先生の発言

黄色マーカー…先生による発問・活動指示

○…生徒の発言に対する先生の問い返し・揺さぶり

●…生徒の発言・様子

（授業見学日：2025 年 7 月 16 日）